

令和6年度第1回南砺市食育会議 会議録

1. 開催日時：令和6年7月30日（火）午後2時00分
2. 開催場所：南砺市役所 本館 302 会議室
3. 出席者：委員 12 名
松井委員、雄川委員（代理）、長瀬委員、川嶋委員（代理）、下保委員、
井並委員（代理）、上野委員（代理）、定司委員、三橋委員、木戸口委員、
岩佐委員、山岸委員
事務局（農政課）
中島課長、久保係長、小林副主幹
欠席者 2 名 勇崎委員、中野委員

次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 委員の紹介
4. 南砺市食育推進計画概要及び食育会議設置の目的について
5. 協議事項
 - (1) 令和5年度の取り組み結果及び令和6年度取り組み状況について
 - (2) 第3期 南砺市食育推進計画の策定について
 - (3) その他の事項について
6. 閉会

1. 開会 午後2時
2. あいさつ（ブランド戦略部長）
3. 委員の紹介
委員名簿、配席表
4. 南砺市食育推進計画概要及び食育会議設置の目的について
[事務局]
資料1、資料2の説明
5. 協議事項
[事務局]

それでは、引き続き協議事項に入ります。

なお、ここからは本会の会長であります南砺市ブランド戦略部 部長 岩佐 崇が進行致します。宜しくお願いします。

[会長]

会長の岩佐です。よろしくお願いいたします。

それでは、協議事項（１）令和５年度の取組み結果及び令和６年度取組み状況について、事務局より説明して下さい。

[事務局]

資料３から資料５の説明

[会長]

健康課の令和５年度、本年度の取組みをお聞かせください。

[健康課]

健康課です。

令和５年度の取組み結果の「資料４」の「子どもの食育」のところでは、妊娠期から乳幼児期、学童期にかけて食育の推進と口腔機能の向上等について実施しました。

離乳食教室、発育相談、乳幼児健診の栄養指導を主にしております。

「生涯にわたる心身の健康」では、生活習慣病予防を目的とした一般健康教室や食生活推進協議会にご協力いただいて、地域での伝達講習 166 回で 6723 名、地域まるごと健康教室は地域のサロン等に出向いて、高血圧を目的とした教室を実施しております。

その他医療、介護関係者による食育活動の実施ボランティア検討を実施しております。

「資料５」の令和６年度の取組み状況ですが、令和５年度と同等に実施していきたいと思っております。

今年度は、学生期の食育というところで学生検診の際、尿中塩分検査を実施して塩分の摂取量を保護者にもわかっていただけるような、事業を今年は実施したいと思っております。

[会長]

続いて、地域包括ケア課お願いします。

[地域包括ケア課]

地域包括ケア課では高齢期の食育として、すべての 65 歳以上の方が対象の一般介護予防事業で、口腔機能の維持や栄養改善に関する普及啓発を行っております。

介護予防出前講座を実施したり、スマイルエイジ教室では普及啓発を行っております。

また、心身の活力の低下、虚弱状態の早期発見のために、フレイルチェックを実施しております。フレイルチェックを実施するためのボランティアとして、フレイルサポーター養成講座を実施しております。

「資料５」の令和６年度の取組みは、令和５年度と同様に一般介護予防事業や介護予防出

前講座を実施していく予定としております。

[会長]

続いて、教育総務課お願いします。

[教育総務課]

「資料 4」の、「子どもの食育」におきまして、地場産の食材を使った学校給食の取り組みを行っております。

なんとハートフルランチ、なんと！おいしい学校給食週間、なんとサンキューデー、なんと食育デー、なんと世界遺産給食は地元産の食材を積極的に活用した給食を提供し、児童生徒に対して食を通じた地域への理解・仕組み、継承を目的に実施しております。併せて学校教諭による食材の説明や、給食の提供を行った日に生産者から伺ったインタビュー内容で栽培の工夫や苦勞、子供たちへのメッセージ等、給食時間の校内放送や校内で紹介掲示を実施。令和 6 年度につきましても、これらの取り組みを引続き実施としております。

また今年度は、南砺市市政 20 周年を迎えるということで、南砺市 20 周年献立を計画。これは南砺市が誕生した 11 月 1 日に、南砺市のキャラクターで、なんとくんのイラスト入りコロッケを給食で提供する予定としております。

その食材の中には地場産のじゃがいもや、玉ねぎといったものを使用し提供。

農政課と連携実施しております、なんと自然給食ものがたり事業については、令和 6 年度は年 8 回行う予定です。

[会長]

続きまして、小中学校の取り組みにつきましてもお願いします。

[栄養教諭]

学校では主に職員が給食時間で行っておりますが、他に各教科や学級活動という時間を利用して、栄養教諭や栄養職員による食育を行っております。

その地域の特産物を実際に加工したり、作ったり栽培したり、収穫した物を地域の方に教わりながら調理したりという体験活動を通して、地域の作物への理解を作っているところです。

今年度も引き続きそのように行ってまいります。

[会長]

こども課、お願いします。

[こども課]

こども課です。

令和 5 年度の取り組みについてですが、肥満児童に対する保健指導 3 名ということで、対象となった 3 名の保護者の方と面談を行いました。

そういう面では年間食育活動計画に基づいて、保育士の方が率先して食育活動を行っております。その内容としては野菜の栽培・収穫・調理などを行っております。

また、食事のマナーも給食の時間を通して、お話をしてくださっています。

地場産食材を使用した給食の提供ということで、農薬化学肥料不使用の米で 7 分づきのお米を年 7 回、おにぎりとしておやつ時間に提供しています。

その他じゃがいも、ニンジン、サツマイモを使った給食の提供ということで、1 回ずつ提供させていただきました。

令和 6 年度の実績は、令和 5 年度と同様に地場産の野菜を積極的に活用し、手づくりおやつ試食会などを、支援センターで行っていきたいと思っています。

[会長]

続いて、エコビレッジ推進課をお願いします。

[エコビレッジ推進課]

エコビレッジ推進課では、SDGs の普及啓発を目的とした SDGs カフェ事業を年 3 回、その内の第 2 回目におきまして、持続可能な農業等の講演会ということで開催をしております。50 人ほど、参加いただきました。

また、フードドライブを実施する市民団体を支援ということで、昨年度は 5 団体に対して、支援活動を実施。エコビレッジ部活動ということで、地元の高校生が地元の原材料を使用した味噌づくりを学習し支援を実施しております。令和 6 年度につきましても、今ほど申し上げました令和 5 年度の事業と同様で SDGs、出前講座ということで食育、フードロスを含む SDGs の普及啓発活動を小中学校や、市民団体等と一緒に取り組んでまいります。

[会長]

ありがとうございました。

ここまで、市の取り組みについてご報告をさせていただきました。

市の取り組み等につきまして御質問、或いはご意見があれば、お伺いしたいと思います。宜しくお願いたします。

[委員]

資料 8 ページの「資料 3」中「R5 現状値」に対し「R5 評価」の○×についてお聞きしたい。

[事務局]

「資料3」中で「計画策定時（H30 現状値）」・「R4 現状値」・「R5 現状値」・「目標値（R6）」を比較し「R5 評価」の○×と評価しております。

例えば、「項目」①朝食を食べない子供の割合で「対象」1.6 か月児についてですが、「R5 現状値」は2.8%で「目標値（R6）」は0%としており「R4 現状値」は3.6%で「R4 現状値」より「目標値（R6）」に近いので評価は「○」としております。

この書類について、分かりづらい点があり申し訳ありません。

次回までに書類を整理し改めて配布したいと思っておりますので宜しくお願い致します。

[委員]

「資料3」の「出典」欄について、データを取ってきた元の箇所であり評価をするのは食育会で評価なのか？それとも、それぞれの課が評価をするのか？はっきりしてほしい。

[事務局]

評価については、「出典」データに基づき、事務局で評価をしております。わかりにくい資料となり申し訳ございませんでした。

[会長]

他に何か、質問等ございますでしょうか？質問がないようですので、となみ野農協さんはどんな事をされてますでしょうか？

[となみ野農協]

となみ野農協では生産者の代理という事で、管内では学校給食へ食材提供をしております。月1回、学校栄養教諭から情報をいただき生産者の仲介役となり、どのような食材の提供が出来るか等協議しております。先程、話にあった南砺市20周年献立のコロッケの食材で玉ねぎを、規格外等安価で提供出来ればと思っております。本日は代理で出席しており、細かい点はわかりませんが今後共、宜しくお願い致します。

[会長]

ありがとうございました。

続いて、南砺市食生活改善推進協議会からお願い致します

[南砺市食生活改善推進協議会]

食改のスローガンは「私達の健康は私達の手で～のばそう健康寿命つなごう郷土の食～」で重点目標は、子供から大人まで各年代に合った食材を推進し、健康寿命の延伸に努める。

「減塩のPR活動（年2回）」を推進し、婦人がん検診受診者の方を対象に実施（年4回）

パンフレットの説明と減塩食品のPRをし、皆さんには興味を持って聞いていただけました。また減塩レシピコンテストを一般公募し、表彰式を実施しました。今回、初めてフードドライブを実施し、沢山の食材を提供頂きご協力いただきました。食改は行政の力を借りて、全体研修・中央研修を受け住民へ伝達するボランティア団体です。今年度はPR活動と、9月15日の健康増進フェアでボランティアの3団体と減塩PR活動をしていこうと思っています。

[会長]

ありがとうございました。

続いて、富山県砺波厚生センターからお願い致します

[富山県砺波厚生センター]

私共は直接、この活動をしている部分というわけではないと思うんですけれども、各市が行っておられる活動の広報支援ということで技術的、専門的、また砺波圏域の南砺市や小矢部市、砺波市との歩調を合わせ特徴を出しながら進めていただけるように、いろいろ専門職というか、現場の人を集めた話し合いですとか、発表や研修会等ご支援をしていきたいというふうに思っております。

話題になりました目標値が達成できるように、支援していきたいと感じております。よろしくをお願いします。

[会長]

ありがとうございました。

続いて、砺波農林振興センターからお願い致します

[砺波農林振興センター]

よろしくお願いします。

農林振興センターは農業振興という立場で、食の大元となる農産物の生産・支援をしているわけです。

今、課題となっているのが高齢化の加速や生産する人が減っている、新規就農者を育てていくなかで、なかなか新規学卒や、親元就農、最初から目標を持って農業に就きたいという方が最近では居なく苦戦しています。一方、働いて暫くしてから若い時や子供の時の体験、食の体験、農業体験等を機に農業に就きたいという方が、最近では結構いらっしゃると思います。

あと仕事を退職・定年後に農業に戻って来る人が結構おられます。最近、思うのは若い時や子供の時に食の良い体験・農業に対する体験をした事で、いつか農業に戻ってきていただけることに繋がるのかなと思います。今日、紹介いただいた沢山の取り組みが今後、農業の担い手に興味を持つ機会や、食に興味を持ってもらう事や、親御さんが食・農業の知識を子ど

もに教えていただける等、そういう取り組みに繋がればいいなと思っております。
また皆さん、ご協力をお願い致します。

[会長]

ありがとうございました。
他に何かありますでしょうか？

[公募委員]

先日も「なんと自然給食ものがたり」で食材を提供しましたが、その年の気候等で生産量が左右され、去年は出荷する事が出来なかった。有機の食材を子ども達に食べさせてほしく、もっと生産者の数が増えればと思うし、行政も一緒に協力していただけたらと思います。

[会長]

ありがとうございました。
それでは、議案の関係もございまして、協議事項の(3)第3期南砺食育推進計画の策定についてです。事務局より説明をお願いいたします。

[事務局]

資料6の説明

[会長]

ありがとうございます。
今ほどの第3期の計画についての策定の進め方について説明がありました。
これにつきまして皆さんからご意見を、頂戴したいと思いますので宜しくお願い致します。
どうぞ。

[公募委員]

食育とは生まれてから亡くなる迄が含まれると思うが、子どもの食育はとても大事だと思っており、食には色々な物があって自分が本当に好きなものだけ食べるといった傾向があり、ちゃんとした食事にしていけたらと思っています。
その為に、どんなことをすれば良いのかなと思って考えてたんですけど、まず親が忙しい等の理由で弁当や惣菜等、買って来たものを子供たちに食べさせるような感じに今はなってきたんじゃないかなと思う。
例えば発酵食品が入ったお味噌を使って、具沢山のお味噌汁を作るとか、そういったことをお母さん達に伝えてあげれたらと私なりに思ったりしてたんですけど。
主菜はご飯で、副菜が具沢山の味噌汁にあと少し何かあればと、ちゃんとした栄養の取れる

簡単な食事作りを、若いお母さん達に教えてあげれたらと思います。それと、小学校等の子ども達には、自然の中の田んぼの中にいる生き物調査とか、ゲンゴロウやドジョウがいるんだよとか、そういったことを実際に体験して見てもらえたらいいかなと。

それから土の中の観察等、草で出来た堆肥の中には、こんなに沢山の微生物がいて自然の力で分解し、それをまた野菜が吸収してくるような、そんな取り組みもしていただけたらと思っています。

できるかどうかはわかりませんが。

少しでも子供たちに、本当の自然に触れてもらうことが目的ではないのかと思いました。

[会長]

ありがとうございました。

何か事務局から、コメント等ありますか。

[事務局]

事務局です。親の調理に対する意識づけが必要ではないかという事を、教えていただきました。あと、この推進施策に盛り込めたらと考えております。

また、子供たちが田んぼに入って生き物調査でありますとか、そういったものに対してはみんな農作業の日とか、でPRはしていますが、皆さん全員が参加できるわけではないので、PR活動、委員さんの言われるようなところに取り組んでいきたいと考えておりますので、宜しくお願い致します

[会長]

ありがとうございました。

他にございますか。

[委員]

農水省のホームページで食育の掲載記事で、食育を推進したらこんな良い事があるよという掲載があり、食育を推進するとこんな良い事があると推進計画に盛り込むべきか解らないが、あれば良いのではと思います。目標値と原因と結果を分かり易く区別したり、「食の安全性を市民に対する正しい理解」の言葉表現がわかりにくいような気がする。

[会長]

ありがとうございました。

他にございますか

[委員]

目標値の関係性を示し、例えば〇〇をすれば〇〇が良くなると、表記すれば分かり易く良くなるのかなぁと思います。高齢化が進む地域であり、高齢者に向けての食育に関する事も盛り込んではどうかと思う。

[会長]

ありがたい姿というものを明確にし、その為に食育という手段を使っていく等、食育の意義等をわかるように支援及び伝えられるような計画にしていきたいと思います。宜しく願致します。今後、各委員の皆様におかれましては、お気づきの点があれば事務局の方にご意見等頂戴したいと思っております。よろしく願いたします。それでは協議事項（3）その他の事項についてです。

[事務局]

その他事項でございますけれども、先ほどご説明いたしましたスケジュールですが、第2回食育会議は9月ということで、9月30日の月曜日に開催予定としております。また皆様方には、ご案内いたします。資料につきましては今日お聞きした内容や、ご指摘いただいた事を参考に、作って参り皆様へお見せしたいと考えておりますので、よろしく願いたします。

[会長]

それでは、本日予定しておりました協議事項につきましては全て終了いたしました。活発なご意見を頂き、ありがとうございました。

[事務局]

長時間にわたりまして、貴重なご意見ありがとうございました。これにて、第1回南砺市職員会議を閉会させていただきます。皆さんどうもありがとうございました。ありがとうございました。

閉会 午後3時45分